不退転

東 江 中 学 校
名護市大東2-1-1
校長　神 元 勉

心のコップが上を向いた生き方

心にはコップがあります。心のコップが上を向いている人は、周りの人の話や学んだ内容、自分に起きたよいことも悪いことも、水を注ぐがごとくに、そのコップにどんどんと注いでいきます。コップが上を向いている人は、生き方や態度・考え方が素直で、前向きで、真剣です。

反対に、心のコップが下を向いている人もいます。こういった人たちは、周りの人のせっかくのアドバイスも耳に入りません。下を向いたコップに水を注いでもこぼれるのと同じで、自分に起きたよいことも悪いことも、吸収できません。いつも何かに対して不満を持っていて、考え方が後ろ向きで、やる気が持てません。「心のコップが上向きか、下向きか」この2種類の人間について最も特徴的な差は、「結果に対しての考え方」に表れてます。心のコップが下を向いている人は、結果に対して「どうせ自分には無理」と、自分の「能力不足」を嘆きます。つまりは「他責の念」です。

一方、心のコップが上を向いている人は、たとえ結果が自分の願った通りでなかったとしても、「自分がもっとこうすればよかったのだ」と、自分の「努力不足」を反省します。つまり「自責の念」を持つということです。

「心のコップ」は、このようにその人の考え方や感じ方という、いわば生き方全般に影響を与えるものです。（中略）

やる気のない生徒、というのがいます。やる気がないように見えます。勉強も運動も、友達関係も、別に何でもいい、という生徒です。そういった生徒は、心のコップが完全に下を向いてしまっていて、過去のダメだった自分の姿にとらわれてしまい、現在から未来の自分に対して、何の期待も希望も持っていないのです。こういった生徒の心のコップを上に向けられるのは、心のコップが上を向いている教師だけです。下を向いた心、後ろばかり見ている視線を、上に向けて前に向けてやるには、未来に連れて行ってあげることしかありません。

なりたい自分、かなえたい夢、こうしたいというぼんやりとした思い、そういった、たとえ小さくても輝く「未来の希望の兆し」に気づかせて、そこから今の自分を見させて、心のコップを上に向けてあげることです。

心のコップが上を向けば、やがては教えられなくても、自らがその希望の兆しに気づき、主体的で前向きな生き方ができるようになります。未来から現在を見て、やるべきことに気付きイキイキと取り組む人生。素晴らしいと思いませんか。

私はこれからも、常に自他に問いかけていきます。「今日のあなたの心のコップは、上を向いていますか」と。

（株式会社 原田教育研究所メールマガジンから抜粋）

http://harada-educate.jp/mail-bu/

部活動結成式

4月14日(火)の6校時に体育館で、「部活動結成式」を行いました。その際のプレゼン資料を紹介します。

2

地区新人バレーボール大会　優勝

国頭村長杯野球大会　優勝

1

上昇気流に乗って
『最高に輝く』東江中学校へ『進化』

4

地区新人相撲大会　優勝

3

森　信三(1896～1992)
哲学者・教育者

「時を守り
場を清め
礼を正す」

これを部活動の合い言葉にして、各部で競い合ってほしい!!

6

5

「強いチーム」の共通点

①動作が機敏で、部室へ小走りで移動する。

②部室や練習場所がきれいで、整理・整頓が行き届いている。

③あいさつが上手で、時と場を考えた言動ができる。

④指導者がいなくても、自分達で考えて自主的に練習できる。

8

「時を守る」

人としての信用の第一歩!!各部で、開始時間や下校時間を守ることを競い合ってほしい。

「場を清める」

練習場所、部室、用具等を感謝の気持ちを込めて、磨く(整理・整頓・清掃)ことで、心を磨き、心を整えてほしい。

「礼を正す」

爽やかなあいさつはもちろん、常に大きな声を出し、自ら考え行動してほしい。

7

最後に
感謝の気持ちを忘れずに…!!

① 顧問・副顧問・コーチは、平日でも勤務時間（8:15～16:45）外も指導してくれる。
② 休日も家族と離れて、指導してくれる。

決して、当たり前の事ではない。君達の「心・技・体」の健やかな成長を願って、ボランティアで、指導している。

10

「不退転」と「負けない」

どんな困難に遭っても、「負けない」心と「不退転」の魂で、最後まで貫き通す!!

9